

平成22年3月期第1四半期（連結）の概況

経営成績

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、在庫調整の進捗を主因に生産が持ち直すなど、景気悪化に下げ止まりの兆候が見られましたが、依然先行き不透明な状況が続きました。また、海外においても、中国で景気底入れの動きが見られたものの、米国、欧州を中心に全体として、景気の低迷が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、前年度の第4四半期に引続き、当第1四半期においても鉄鋼関連事業の鋼材やアルミ・銅関連事業を中心に、低水準の操業を余儀なくされました。すなわち、総じて堅調な需要に恵まれた前年同期と比較すると、各事業における販売数量が大幅に減少したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1,651億円減収の3,778億円となりました。営業損益は、従来以上にコストダウン活動に注力したものの、販売数量の減少による影響が大きく、前年同期に比べ588億円減益の135億円の損失となりました。また経常損益は、前年同期に比べ655億円減益の229億円、四半期純損益は、前年同期に比べ585億円減益の332億円の、それぞれ損失となりました。





※矢印は対前年同四半期

事業別売上高情報

事業（セグメント）別の状況は以下のとおりです。
 詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」サイト掲載の平成22年3月期第1四半期決算短信をご覧ください。



※矢印は対前年同四半期